

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

「盛人大学実行委員会」

川口市では50歳からの成熟した盛んなる人を「盛人」と称しています。この盛人世代が、地域創造をテーマにさまざまな人や歴史、地域・社会について学び、自らできる地域や社会への活動につなげようと、平成18年度に開校した「盛人大学」。今年度は8コース、定員300人に拡大し、新たに設置する盛人大学キャンパスの運営組織「盛人大学実行委員会」のみなさんを岡村市長が訪問。活動内容などを聞きました。



市長 みなさんこんにちは。早いもので今年も半年が過ぎました。暑い日がやってきますが、熱中症などに気をつけて頑張っていただけだと思います。今月の市長のふれあい訪問は、8月から装いも新たにオープンする盛人大学の実行委員会のみなさんです。どうぞよろしくお願いします。はじめに、盛人大学はどのような経緯で始まったのですか。

仲川 川口市では50歳になった人が集う盛人式を開催していますが、平成17年の参加者が一緒に学び合う場所を作ろうということになりました。その翌年の平成18年に盛人大学が開校され、今年で5回目の募集を迎えます。**市長** 各講座はどこで行われているのですか。

仲川 今まで市民パートナーズセッションを中心に行っていましたが、8月18日から西川口の旧並木公民館をキャンパスとして利用させていただきます。

市長 キャンパスが固定され、



装いも新たに開校するので、**鈴木** はい。最初は1コースでしたが、その後3コースとなり今年度は8コース300名の参加を予定しています。

市長 今日はその中の5コースの部会のかたがお見えいただいているようなので、それぞれコースの内容を教えてくださいませんか。

青木 川口市は人口58万人のうち2万2千人が外国人と、全国で6番目に外国人が多い都市です。私も「国際コース」では多文化共生社会について、地域で実践している人を講師に迎え、多文化共生のため地域社会で貢献活躍していただくためのカリキュラムを作成しています。

菅野(チ) 川口市はボランティア日本一を目指して、多くの人がボランティアに参加しています。「ボランティア入門コース」では、やりたいけど尻込み

している人に、少し前に出て、ボランティアをまず知ってもらうことから始めていきます。

市長 ボランティアで社会貢献したいという人は多いですね。そのきっかけづくりになつてもらえればありがたいと思います。ほかにも新しいコースがありましたね。

鈴木 「社会起業・ビジネスコース」です。中途・早期退職者や既に退職した人が、地元で新しい仕事のグループを作るために必要な組織づくりや法律的事務などを、実践事例などを織り交ぜながら学んでいただけます。

市長 新たな経済講座ですね。以前から継続するコースもありましたね。

菅野(正) はい、私も「カウセンセリング入門コース」では、より良い人間関係の構築をテーマに、相手をよく知り、自分自身を内面から見つめ直し、より開かれた自分になれるようなカリキュラムを組んでいます。

市長 精神的に悩みを抱えている人が多いので、人気が高いようです。ね。「農業体験コース」はもう始まっていると伺いました。

根本 4月から講義と実習を行っています。9つの班を作り、年間をととして30種類ほどの野菜の栽培を行っています。

市長 私も収穫祭に参加させていただきましたが、本当に美味しいですね。ところで、今日部会長さんが見えになってな

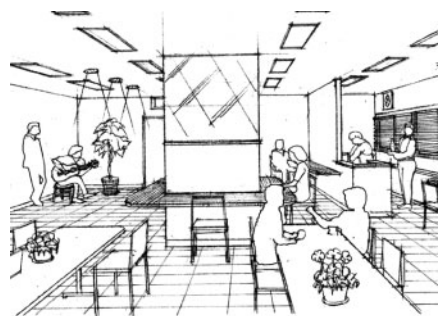
いコースもありましたね。

菅野(正) 「社会教養コース」「コミュニティデザインコース」「市政を知ろう」のコースです。

市長 とても充実していますね。それでは最後に今後の抱負をお聞かせください。

仲川 8月18日にオープンする新しいキャンパスで、多くのかたに、地域に貢献することを学んでいただき、社会に広く還元していただければと思います。運営に携わる者として、それが何よりもうれしいことです。ので、多くのみなさんの参加をお待ちしています。

市長 私は、いきいきと輝いて生活している方がどれだけ多いかが、良いまちのパロメーターだと思っています。人の成長とともにまちも成長する。そのために、これからも盛人大学を積極的に応援していきますので、頑張ってくださいと思います。今日はありがとうございました。



キャンパス内の学習・交流サロンのイメージ画